

新社会人の ABC 訪問先と雑談 何を話す?

訪問先で本題に入る前の雑談は、何を話せばいいか迷う人もいるだろう。企業研修を幅広く手がけるヒューマンディスカパリーの尾形圭子社長は「一生懸命話すのではなく、相手に質問して話を広げ、自分は聞き役に回るのがコツ」と助言する。

最初の話題は天気が一番。「いい天気ですね」「久しぶりに降りましたね」と

言った後、「近くにおいしそうなお店がありました」「きれいなオフィスですね」など来るまでに気づいたことを話すと、お互いの緊張がほぐれて場が温まる。

話題に困ったら「食べ物・旅」「乗り物(経路)」「趣味」「くに(出身)」「はやり」「長生き(健康)」「スポーツ」「こよみ」「通信(ニュースやSNS)」から選ぶといい。中でも出身地の

話題に困ったら...

た	べもの	は	やり
の	りもの	な	がいき
し	ゅみ	す	ぽーつ
く	に	こ	よみ
		つ	うしん

話は広がりやすく、同郷だと急速に距離が近付くので薦めだ。相手企業のサイトを話題にするのも、関心の深さをアピールできて効果的だ。

会社や上司の愚痴や悪口はもってのほか。政治や宗教の話題も避けよう。どんな話題も否定的な言い方にならないよう気をつけたい。冒頭の雑談が途切れたら、「本日はありがとうございます。早速ですが……」と、改めてお礼を言ってから用件を切り出そう。尾形さんは「雑談ができると社会性があると見られ、信頼関係を築きやすい。友達と練習してみるといい」と話す。(服)

(2022年12月5日読売新聞朝刊全国版)